



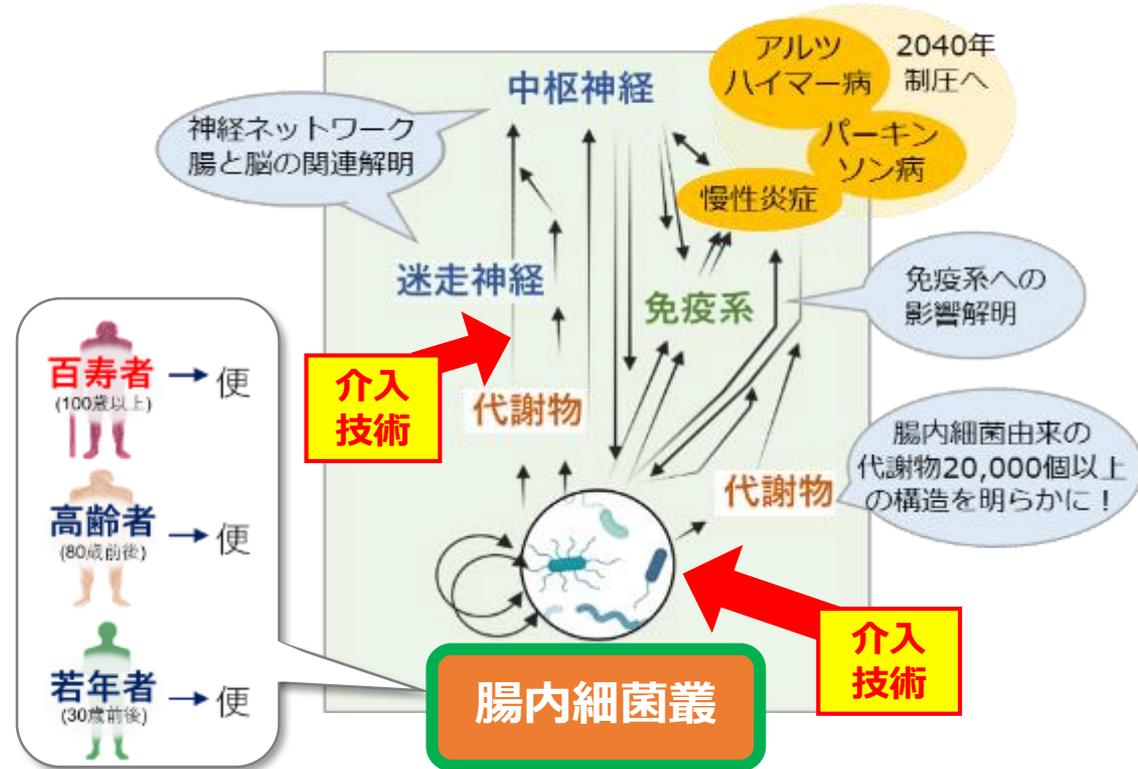
## 「健康寿命伸長にむけた腸内細菌動作原理の理解とその応用」

**本田 賢也 PM**

(慶應義塾大学・教授)

### 研究プロジェクト概要

現在では謎に包まれている、腸内細菌が食物等を分解して産生される代謝物の役割や働き、及びその動作原理の根本を解明し、そこから派生する神経系のネットワーク、さらには免疫系への影響も明らかにします。これらにより、アルツハイマー病、パーキンソン病、慢性炎症を制圧し、今までにない予防や医療実現を目指します。



### 2040年までに期待される ブレイクスルー

- ・腸内細菌由来代謝物20,000種以上の構造を明らかにし、どこにいても簡単に健康管理や病態把握できる仕組みの基盤を提供へ。
- ・百寿者、高齢者コホートを拡充し、世界最大級のデータリソースを構築。
- ・腸脳関連の分子細胞基盤を明らかにし、腸管を起点とする神経活動を人為的に操れるコネクター分子を開発。
- ・食事などによる腸内細菌への医療介入により、慢性炎症や神経疾患の制御へ。